



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	<職員エッセー>父と日本語教室 / 本の紹介 ……1~2	カレンダー	2021年2月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
報告	シカモ・サロン (サレヒ メヌシュさん) …… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
コラム	アートの小箱 …… 4	巻末	編集後記 …… 8

<職員エッセー>



父と日本語教室

昨年9月より、協会主催の2つの新しい日本語教室がスタートした。日本語教室にアクセスしづらい地域の在住外国人向けに、新しい拠点での教室を開いたところ、今まで協会の教室に来たことがない学習者の参加もあり、にぎわいを見せている。日本語教室の担当職員として、さまざまな思いをかかえた学習者を見てみると、過去に家族が教室に通っていたときのことをふと思い返す。(坂口)

(写真) 岡山国際交流センター日本語教室の10周年記念パーティにて。
母の膝の上の筆者(当時4歳)と、その右側が父。

今から20年以上前、アメリカ国籍の父が日本語教室に通っていた頃の話である。父は専業主夫で、平日の日中、岡山国際交流センターにて熱心に日本語を勉強していたのを小学生のおぼろげな記憶の中で覚えている。当時、私は父が勉強している横で過ごしていたこともあれば、同じ建物内にある図書資料室で子ども向けのビデオを視聴して学習が終わるのを待っていたこともあった。いつもカセットテープレコーダーを持参し、教室の録音をいつも自宅で聴いていた。日本語教室の話題はよく上っていたので、お世話になっていた当時の先生の顔こそは思い出せないが、名前は今でも記憶に残っている。

日本語教室の先生がたに地元の花火大会に家族を誘ってもらったこともあった。車を持たない私

たちのために、花火大会の会場へ送迎までしてもらった。ちなみに、花火自体の記憶は全くないのだが、花火を見ていた場所が私有地だったようで、いかつめのお兄さんに日本語教室の先生が怒鳴られている記憶だけが強烈に残っている。ともあれ、時代的にも地域的にも学習者と支援者の距離が今の何倍も近かったように思う。

今では、70歳を超え、日本語教室にも通わなくなってから久しい。毎日、自宅とスーパーとの往復ばかりの姿を見て、ふと日本語教室に通っていた頃を思い出すと、一人で美味しいラーメン店を見つけて店主と顔なじみになったり、「はだか祭り」として有名な奇祭・西大寺会場を見物しに行ったりと、手探りながら地域社会になじもうともがいていたようにも思えた。父からしてみれば「地域社会の一員」となれた感覚は当時も今も薄いのか

発行・差出人:公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 318名 法人会員数: 29団体 (2021年1月16日現在)

もしれない。けれども、お世辞にも社交的ではない父を地域社会に飛び出そうという気持ちにさせたのは、日本語教室の役割も大きいように思う。

私も日本語教室の担当者の一員として、どのような教室にしていくか、試行錯誤を続けている。教室をたずねてくる人も多様だ。日本で仕事をしたい人、日本語能力試験に受かりたい人、日本語の本や新聞を読めるようになりたい人、ただ雑談をしたい人、友達をつくりたい人…。正直、全員の期待に沿う教室を運営するのは難しい。「ここではないな」と感じたのか、教室に来なくなる人もわずかながらいる。そうした難しさもあるが、私は、ひとりでも多くの

人を「地域社会でなりたい自分」になれるよう、背中を押すことができるような教室にしていきたいと思う。先日も、夜の教室に2年ほど通っている学習者から市内の飲食店でアルバイトを始めたという話を聞き、自分のことのように嬉しくなった。残念ながら、今月(2021年1月)半ばから新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての日本語教室をオンラインへと切り替えているが、ぜひ対面の教室が再開した折には、気軽に教室を覗いてほしい。また、ぜひ身近な人にもお声かけいただき、教室に誘っていただきたい。それが「地域社会でなりたい自分」になれる、最初の一歩になるかもしれない。



『人質の朗読会』

小川洋子著

とある国で観光中に反政府ゲリラの襲撃を受け、ツアー客八人が人質に。百日以上がすぎ、特殊部隊がアジトに強行突入するも、犯人の仕掛けたダイナマイトで人質は全員死亡する。作品は、その八人が書いた話を朗読する声が盗聴器のテープに残され、のちにラジオ放送されるという設定で書かれたものである。第一夜から第九夜まで、一話多いのは、特殊部隊通信班の一人が事件の顛末とともに自分の物語を語ったためだ。技巧を凝らせた隙のない文体と構成で人の心の片隅を照らし、どれも読ませる。

少女と鉄工所の工員との淡い交情を描く『杖』か、嫌味な大家といつしか職場から貰う不良品の菓子を共に食べるようになる『やまびこビスケット』か。好きな物語への熱意を持ち寄せれば楽しい読書会が開けそうだが、筆者の推しは『B談話室』である。外国人男性に公民館への行き方を尋ねられて案内した"僕"は、吸い込まれるようにしてB談話室に入り、その日の集まりである「危機言語を救う友の会」の一席を占めることになる。その後も、運針倶楽部定例会で木綿に針を運んだり、生米に『ハムレット』を書き写したり、事故で子どもを亡くした親たちの会合で、自分の大事な人を思い出したかのような懐かしい気持ちで両隣の人の手を握る。

世界のあらゆる場所にB談話室はある。あらゆる種類の会合が開かれている。ささやかなつながりを持つ者たちがほんの数人、そこへ集まってくる。その他大勢の人々にとってはさほど重要でもない事柄が、B談話室ではひととき、この上もなく大事に扱われる。会員たちはB談話室でこそ、真に笑ったり泣いたり感嘆したりできる。

人生の真髄を表すこの件が味わい深い。人と繋がれる場に赴くことを、そっと後押しもしてくれている。協会の窓口が、comm cafeが、そして会議室やボランティアルームが、あなたのB談話室になり得ますように。
(山下)



シカモ・サロン

～世界のことばと文化をめぐる～

11/18(水)
10:00～11:00サファヴィー朝の壁画から知るペルシャ文化
サレヒ メヌシュさん(イラン)

多言語での絵本の読み聞かせの会として2016年に始まった『シカモ・サロン』は、「言葉の数だけ文化があることを五感で感じてほしい」という「チーム・シカモ」に集う人たちの想いから生まれた。運営するメンバーは、カフェスタッフとしてもお馴染みの崔さん、コフさん、ナタリアさん、タナヤさん、メヌシュさんたち。参加者は毎回10名ほどで、対話を通して文化への理解を深める場となっている。

今年はテーマとして『アート』や『詩』なども取り上げ、企画の幅を広げている。

今回は来日4年目のメヌシュさんにペルシャの文化について語って頂いた。イランは日本とは戦前から深い親交があるが、現在は中東地域の情勢不安とコロナの影響で行き来が自由にできない。

まず初めに、ペルシャ語の詩が朗読された。その後、この詩にまつわるサファヴィー朝(16世紀初めに成立)時代の宮殿の壁画の写真が配られた。宮殿はイスファハーンに1501年に建てられたChehel Sotoun(チェヘル ソトゥーン)宮殿で、現在は博物館として公開されている。「40本の柱」の意味を持つ宮殿の名前は、20本ある柱が宮殿前のプール(イスラム建築にある、人工的な貯水池。)に映り込んだ柱と合わせて40本になるからなのだそう。

宮殿内部の壁に描かれたこの油絵は極彩色で、国王が外国からの賓客をもてなしている華やかな宴会の様子である。絵の大きさについて質問があったが、「comm cafeの西側の壁いっぱいぐらい」との事でかなり大きいことが分かる。意外だったのは、国王を始め人々が正座をしている姿である。メヌシュさんの話では、今は椅子の生活になったが以前は正座をしていたのだそうだ。床や皿にたくさん描かれている赤い果物は、イラン人が大好きなザクロで冬至と正月には必ず食べるという。また、中央には半分に切られたスイカがあり、右手には大皿に大きな胡瓜がたくさん盛られている。



宮殿壁画

胡瓜は皮をむき、塩をつけて食べるのだが、スイカも胡瓜もイランでは果物として扱われている。飲み物はワイン。平たい皿に注がれて飲んでいたようである。

中央の絨毯の、メヌシュさん
向かって右側には国王、その横にお付きの人たち。二羽の鳥も見られるが「雉のようですね」とメヌシュさん。左手には楽士たちが演奏をしている。タンバリンのようなダフ、笛の仲間パンフルート、琵琶の祖先とも言われるウードなど、どのような音楽が奏でられたのだろうか、音色を聴いてみたい。中央には、踊る女性。30人を超えるの登場人物の中、女性は二人のダンサーだけで、長く編まれた髪と服装からオスマントルコから来たと思われる。「この絵はあくまでも宮殿の中の様子であり、一般の庶民の生活とは掛け離れたものでした」とメヌシュさん。

1枚の絵から、イラン・サファヴィー時代の文化がこれほど分かるのは新発見だった。メヌシュさんの知識の深さによるものだが、素晴らしいペルシャ文化に触れる事ができた一時だった。

余談だが、お話を伺った2020年11月19日は、イラン歴で1399年8月28日だそうである。そして、太陽が春分点を通過する瞬間(3月21日)が新年になるのだと教えて頂いた。(井嶋)

※次回は3月17日(水)10時～国語の教科書でもおなじみの「スーホの白い馬」をモンゴル出身のバイサさんが紹介する。





多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。



心の糧の貯蔵庫

箕面で思春期を過ごしていた10代の私には大きな不満があった。町が面白くないという不満である。緑が多く、閑静な住宅街がある箕面は、大阪の中ではどちらかというところ「いい」エリアと言われており、小学生時代に大阪市内から越した時に、友人から随分うらやましがられたのを覚えている。しかし、何かが決定的に物足りない気持ちがあった。「文化」がないのである。



箕面や北摂エリアに文化がないとは言わない。しかし、若者が気軽に出入りできて、心の充電ができるような場所。たとえば名物店主のいるカフェだったり、古本屋、古着屋、ライブハウスなどは、少なくともあの頃の私の周り(箕面小野原あたり)には皆無といってよかった。のちに、10年近く住んだ神戸には駅ごとに、実に個性的なカフェや古本屋があり、さらにその感を強くした。だから、1年ほど前に、独立系書店*ブラックバードブックス(以下、bbb)の存在を知った時、やっとこのような場所ができたか、と感無量となり、喜び勇んで取材にでかけた。

bbbは6年前に緑地公園駅からほど近い場所にオープンした。新刊と古書が混在する店内では、アートや詩の本を多く扱っており、透明な空気感に包まれている。店主の吉川さんも身近に「自分をわくわくさせる文化がない」と、感じていたという。(ちなみに、筆者と吉川さんは同年代である)

取材で滞在した短い間にもぼちぼち近所の若者や年配の方が出入りしていた。コロナの影響で人の集まる出版記念イベントや朗読会などは中止しているが、展示イベントは定期的に開催していて、地域社会の「文化の拠点」を担っていることを感じた。年末年始にかけては、「詩心」がぎゅっとつまったナナロク社の出版物の魅力を見える化した「詩と造本展」が開催されていた。

ところで、個人的に「詩」の分野に関心があるが、一般的にはあまりウケないのではないかと危惧している。そのことを吉川さんに聞いてみると、詩の本は意外と売れるそうである。詩や文学は、生きる上で具体的には役に立たないかもしれないが、一編の詩が、ある小説の登場人物が、人生に力を与えてくれることがある。そのような「心の糧の貯蔵庫」として、このような場が、もっと北摂・箕面の地に増えて欲しいと思う。

*独立系書店：定義はさまざまだが、この場では「規模は小さいながら店主のこだわりや、独自の世界観で存在感を発揮している書店」とする。

店舗情報： **blackbird books**

〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-12-1 緑地ハッピーハイツ 1F
営業日：火～日 10:00～19:00 月曜定休

☎ 06-7173-9286

🌐 <https://blackbirdbooks.jp> などもあり
(イベント情報など詳しくはこちら)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00～3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00～7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】〒562-0023

箕面市粟生間谷西3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

🅐 無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00～17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国語、朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

2月
February



comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火～土
 ★朝カフェ… 09:30～11:30
 ★ランチタイム… 11:30～14:00
 売り切れ次第終了します
 ★午後カフェ… 14:00～17:00

日・祝日
 ★世界の朝ごはん (ドリンク付 660円)
 …10:00～13:00 *ランチはありません
 ★ランチセット (ドリンク付 510円)
 …09:30～15:00 *ランチはありません

ランチは 880円 (税込) です。
 *ランチタイムのみプラス 100円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。
 ●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒… スナック or スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント
 各種イベントの詳細は「めろん」P 6・7をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ 平日もモーニングはじめました! 9:30am～11:00am L.O.

◆トーストセット 510円◆ 手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、ゆで卵
 NZ産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
1 休館日	2 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	3 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	4 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	5 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	6 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	7 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
8 休館日	9 セバルさん 《トルコ》 ☑ 10:00～11:00 フェアトレードにふれる	10 チャレンジ カフェ 李さん 《コリア》	11 ランチセット (9:30～15:00) 祝日 ☒ MAFGA スナック	12 ショウクさん 《サウジアラビア》	13 いずみさん 《ベトナム》	14 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00～13:00
15 休館日	16 いずみさん 《ベトナム》	17 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	18 ノックさん 《タイ》	19 ホーさん 《香港》	20 ラトナさん 《インドネシア》	21 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00～13:00
22 休館日	23 ランチセット (9:30～15:00) 祝日 ☒ MAFGA スナック	24 ランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	25 ティさん 《ベトナム》	26 洪さん 《コリア》	27 ショウクさん 《サウジアラビア》	28 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00



・緊急事態宣言の期間延長などによりランチ営業は変更になる可能性があります。
 ・コムカフェクーポン(ピンク)の利用期限は **2021年3月31日まで** です。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで
 ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

電話: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** E-mail: **info@mafga.or.jp**

連続企画 2/9 (火) 10:00 ~ 11:00	フェアトレードにふれる バナナ編 最近目にするが増えてきた「フェアトレード」商品。公正で公平な取引(フェアトレード)がなぜ大切なのか、商品を実際に手にして、その背景の物語にふれてみませんか。 ◎斎藤 和子 (みのおフェアトレードの会員)	定員: 10名 (要申込み) 場所: comm cafe 参加費: 300円~ (ドリンク代)
ワークショップ 2/13 (土) 16:00 ~ 17:00	ペルシャダンス ワークショップ~^{くれない}紅の舞~ ペルシャダンスを踊って、リフレッシュしませんか。寒い如月に情熱の「赤」を身に、心も体も温まりましょう。 ◎講師 モタバリプール アパールクイ ファテメ	定員: 10名程度 (要申込み) 場所: 講座室 B・C 参加費: 無料 洋服、スカーフ、アクセサリ。何か一つ、赤いものを身に付けてご参加ください。
意見交換会 2/24 (水) 10:00 ~ 11:30	理事長と話そう! 7月から協会理事長に就任した前田一成さんを囲み意見交換会を行います。あなたにとって協会とは? ボランティアでの貴重な体験は? 地域の多文化共生への関わりは? 気軽に話しましょう。 ◎前田 一成 (箕面市国際交流協会 理事長)	定員: 10名程度 (要申込み) 場所: ミーティング室 参加費: 無料
相談会 2/28 (日) 14:00 ~ 16:00	外国にルーツを持つ子どもと保護者のための小学校生活についての相談会 日本の小学校に通うにあたり、どまどいや不安ありませんか? 先輩保護者や教育委員会の方に、直接質問ができます。 ◆対象: 外国にルーツを持つ子どもの保護者	定員: 10名 (要申込) 場所: 講座室 * Zoom でも可能 参加費: 無料 ※通訳が必要な方は (2/21 必切) 申込が必要 ※保育はありませんが、子ども連れで参加可

2021年度 国際理解のための語学講座 受講者募集

今、この世界で、地域で何が起きているのかを、もう少し広く知るために、「言語」を学んでみませんか。初めての方も、または学びなおしの方も、そして継続される方も大歓迎です。2021年度は、講座開始時期がいつもより1か月早まり、4月からになります。どうぞお間違えのないように! 詳細は、挟み込みのチラシをご確認ください。

申込締め切り: 3月8日(月) 講座開始時期: 4月6日~順次



コムカフェクーポン (ピンク) のご利用期限が迫っています!

期限は **2021年3月31日** までです。
お早めにご利用ください!



4月から賛助会員制度が変わります!

- ① 個人会員 (2,000円) が廃止となり、税額控除が受けられる個人寄付会員 (3,000円) と、法人会員 (10,000円) に統一されます。
- ② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能になります。

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で38年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

*バレエコース: 教師歴55年の唐木幸子と、「ロシア国立ベルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書 (Diploma) 取得、教師歴25年の唐木幸子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層 (3才~70才位) で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
 072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

展示会

2/15(月)
～
2/27(土)

「カルナーの会」大切なおくりもの 2021

“タイの路上で生活していた 小さかった大人たちと
大きくなる子どもたちからの 人形と降り積もる言葉たち”
北タイのストリートチルドレンの自立支援活動をサポートしている
「カルナーの会」を通じて届けられた、子どもたちの手仕事、そして、
彼らの言葉が、アート・デザイン古書店マチマチ書店に並ぶ。

場所：マチマチ書店
(京都市中京区西ノ京職司町
19-3 二条ビル2F)
開店時間：12～19時 日曜定休
問合せ：☎ 070-4007-2634
<https://machimachi-books.com/>
f @ などもあり。

セミナー

2/24(水)
14:00～16:00

だれひとり、取り残さない 保健・医療をめざして！ ～日本のマイノリティ・ヘルスを考えよう～

日本に暮らす外国人の中には、言葉や文化、習慣などの違いから、
医療に対して不安や戸惑いを抱えている。外国人市民へどのような
サポートが必要か考える。

◎講師 小笠原 理恵 (大阪大学大学院人間科学研究科助教)

場所：箕面市民病院
4階いろはホール
定員：40名(先着順)
参加費：無料
申込：箕面市人権文化部人権施策室
☎ 072-724-6720
保育あり(要申込)

セミナー

2/27(土)
13:30～16:30

大阪 DARC の足取り ～奇跡が起こった～

薬物依存症からの回復と社会復帰支援を目的とした支援施設、
大阪 DARC。これまでの取り組みを知る。

◎講師 辻本 俊之 (埼玉 DARC)、
倉田 めば (大阪 DARC ディレクター) 他

場所：阿倍野市民学習センター
(阿倍野区阿倍野3-10-300)
定員：80名
参加費：無料
申込：大阪 DARC
☎ 06-6323-8910
✉ terai-1968@bloom.ocn.ne.jp

トーク&ワークショップ

2/27(土)
15:00～16:30

目で聴く ～手話を学ぼう～初級編

手話って何だろう。手話という言葉。手話という文化。
子どもの頃から『手話』が身近にあり、コミュニケーションの
一つの手段としてきた講師から学んでみませんか。
手話を初めて学ぶ方、基礎から学びなおしたい方にオススメ。

◎講師 吉田 花奈 (医療従事者)

場所：箕面市萱野中央人権文化
センター らいとびあ 21
(箕面市萱野 1-19-4)
定員：10名
参加費：無料
ワンドリンクオーダー制 200円～
申込：☎ 072-722-7400

セミナー

3/7(日)
13:30～15:00

オンライン対話型鑑賞 原爆の図「第二部 火」

「原爆の図」(丸木美術館蔵)を鑑賞し、参加者それぞれの視点や
気づき・発見を共有しながら、絵に込められたメッセージを探求
する参加型イベント。

◎ファシリテーター 武田 緑 (教育ファシリテーター)

場所：オンライン (Zoom)
参加費：一般 1000円
学生・子ども 800円
共催：原爆の図 丸木美術館
Demo
申込：Peatix



coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

会議日程

読合せ 第2火曜日 14:00 ~ (次回は2月9日)
編集会議 第4土曜日 10:00 ~ (次回は2月27日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13:00 ~ (次回は2月23日)
発送 毎月最終水曜 13:30 ~ (次回は2月24日)

場所

箕面市立多文化交流センター 2階

編 集 後 記

コロナ禍で協会の活動も大幅に制限され、ボランティアとして人とつながることの困難さを痛感している。そんな中、私が50歳の時、当時住んでいたアメリカ西海岸で出会った日系二世のご夫婦のことを思う。お二人との出会いが、私の人生のターニングポイントとなった。

日本や非英語圏からの留学生の世話を半世紀以上続けて来られたお二人に初めて出会ったのは、現地大学の国際交流課が毎週催す無料ランチ会で、当時70歳代半ばのご夫妻は、200人分の調理を賄うボランティアとして、いつも穏やかな笑顔で黙々と働かれていた。また、初めて外国に来た留学生を空港まで迎えに行き、自宅に泊め、食事を共にし、まるで家族か旧知の友人のような態度で接された。決して裕福な世話好きとしてのボランティア活動ではなく、相手が何者であれ、自分たちの質素な日常に受け入れる態度はいつも自然体で、慣れない外国で暮らす孤独感や疎外感から救われた人も大勢いる。自分たちの用で出かける時に、まだ知り合ったばかりの他人に平気で家の鍵を預けて行くのには驚いたが、その姿を見て「深い信頼は相手に大きな安心感を与えられる」と学ばせてもらった。お二人の優しさの原点は、移民として血の滲む苦勞を重ねた親世代の姿や、第二次世界大戦下での収容キャンプの体験、白人中心社会で生きる日系アメリカ人としての自尊心が強く息づいているからであり、国や人種や年齢を超えて相手思いやり、安心感を与える存在でいられるのだろう。

94歳になった今も、高齢者施設でコロナ避難をしながら、オンラインで世界中の「Onishiファミリー」に笑顔を届け続けるご夫妻のように、末永く伴走できるボランティアでありたい。(平沢)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 51, 55, 56 58, 59, 66, 79	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	70, 78	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、大橋亜由美、荻野克彦、崔聖子、平沢清美、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/